

経営比較分析表（令和元年度決算）

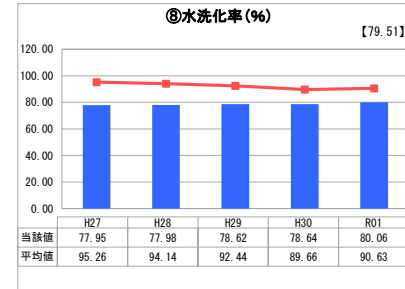
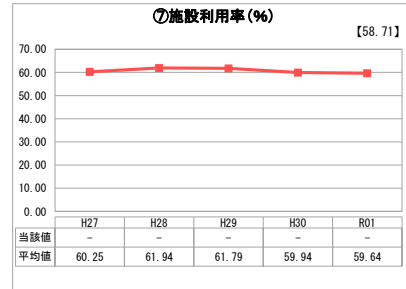
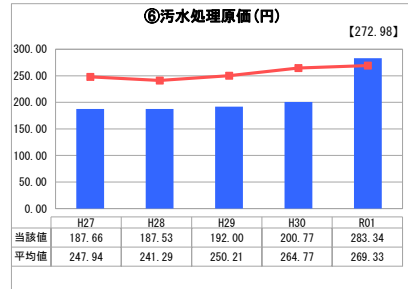
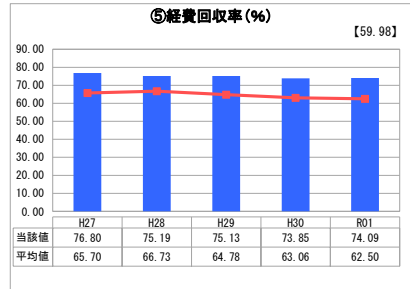
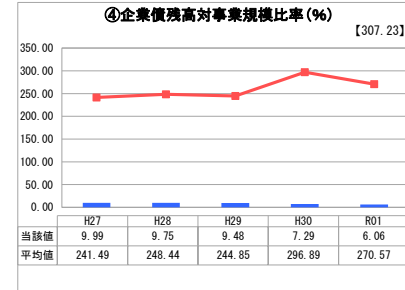
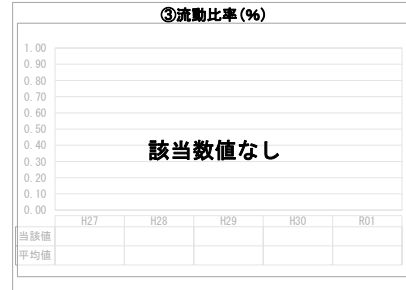
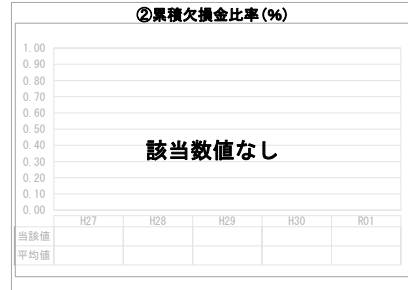
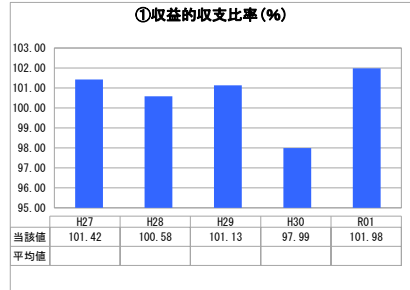
熊本県 苓北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	18.59	100.00	3,300

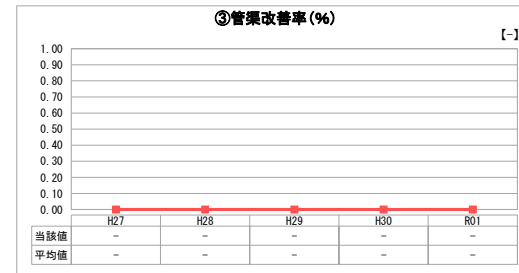
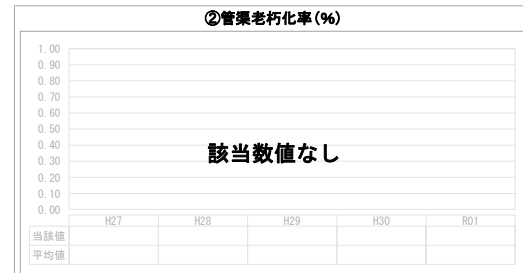
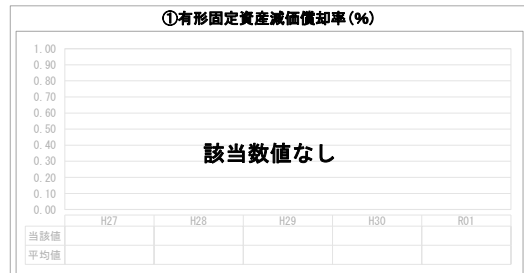
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,129	67.58	105.49
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,309	0.10	13,090.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①及び⑤について
収益的収支は、前年度より4%増加したが、経費回収率は70%前半で推移しているため、維持管理費を使用料収入で賄いきれておらず、一般会計からの繰入に依存しているのが現状であり、基準外の繰入により黒字となっている。

④について
企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値よりかなり低い水準で推移しているが、起債償還金は全て一般会計からの繰入金により賄われている状況である。

⑥について
汚水処理原価が増加しているが、節水意識の向上や水洗化人口が減少したことによる使用水量が減少したこと、消費税増税等による清掃や保守点検費用が増加したことが考えられる。

⑧について
水洗化率は、類似団体より低い水準であるが、増加傾向にある。毎年、3基の合併処理浄化槽を整備しており、汲み取りや単独浄化槽からの転換を図っている。

2. 老朽化の状況について

苓北町の特定地域生活排水処理事業は、平成10年から開始しており、さらに、それ以前に個人で設置され、町へ移管された浄化槽の維持管理もしている。事業開始時より20年以上経過しており、老朽化による修繕で、特にフロー等の付属機器の交換修繕を主に行っている。また、浄化槽本体のひび割れが1件発生し、修繕を行った。今後も経年劣化による浄化槽本体の劣化が予想されるので、清掃や保守点検時に異常の有無を早期に発見し、予防保全に努める。

全体総括

現状では、維持管理費を使用料収入で賄いきれておらず、一般会計からの基準外繰入で賄っている。清掃及び保守点検並びに法定検査は浄化槽法等により定められた必要な業務であるので、適切に行い、他の経費（人件費等）を削減し、また、汲み取りや単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進し、水洗化率の向上及び使用料収入の増加につなげたい。

合併処理浄化槽の整備については、循環型社会形成推進交付金及び起債を活用し、順次整備を進めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。